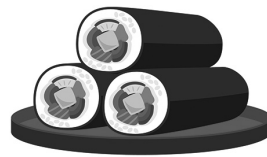


# 農業



令和6年2月号

会誌 No. 1713

## 目次

### 巻頭言

猛暑の中から… ……栗田幸太郎 3

### 論 壇

健康を維持するためのセルフケア食… ……山本（前田）万里 4

### 農事功績者座談会

有機ウメ栽培を核とした大規模果樹経営… ……鶴田 和恵 6

現地指導者のコメント… ……小走 善宣 12

意見交換 …… 14

### 表彰農家訪問

水稻作業の効率化・スマート化と園芸品目の導入により

実現した高収益大規模水田経営… ……小巻 克巳 21

—青森県青森市に飯塚久雄さんを訪ねて—

### 食を楽しむ

ミニトマトと宮澤賢治… ……澤口たまみ 29

### 研究の最前線

養鶏場における高病原性鳥インフルエンザの発生動向と対策… ……常國 良太 30

—最近流行しているウイルスの正体—

### 農業・農村の現場から

資源循環型養豚システムと人材育成… ……前田佳良子 39

—熊本県・セブンフーズの取り組み—

### 世界の農業は今

環境に傾く EU 離脱後の英国（イングランド）農政… ……和泉 真理 45

**私の経営と志**

鹿児島県霧島市で野菜・水稻栽培……………谷口 翔平 51  
—農業・食を通してたくさんの笑顔を作りたい—

**農家の気持ち**

これからの人生は「地域と師匠への恩返し」……………菅野 千秋 53

**東京農業大学収穫祭から (第 I 回)**

意外とすごい?!

キャンパスデザイン……………ランドスケープデザイン・情報学研究室 54

**農業関係予算情報**

「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の

実現に向けた予算……………大日本農会企画部 57

**統計情報**

2022 (令和 4) 年農業産出額および生産農業所得 (都道府県別) …… 60

**農政情報**

…………… 61

編集部から …… 61

大日本農会だより…………… 62

会誌『農業』に関するアンケート

**表紙写真：シリーズ世界農業遺産**

**大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法 (埼玉県武蔵野地域)**

武蔵野の落ち葉堆肥農法は、武蔵野地域 (川越市・所沢市・ふじみ野市・三芳町) において、江戸時代における本地域の開拓から続く伝統農法です。開拓当時、火山灰土のため栄養分が少なく水に乏しいなど農業を行うには非常に厳しい自然条件において、屋敷地・畑地・平地林を計画的に配置し、平地林から生じる落ち葉を堆肥化し、それを畑地にすき込み土壌改良を行うことにより、生産性が高い畑地を生みだし、安定的な農作物の栽培を可能としました。

堆肥にするための平地林における落ち葉掃きなどの林床管理は、豊かな春植物を生み出すとともに、多様な鳥類や昆虫の生息の場を生み出しています。また、屋敷地・畑地・平地林がセットになった細長い短冊形の地割の面的な広がりには、独特の農村風景を形成しています。

首都東京から30km 圏内という大都市近郊にありながら、今なおこのような伝統的な農法が残っている点が高く評価され、本地域の伝統農法である武蔵野の落ち葉堆肥農法は、2023年7月に世界農業遺産に認定されました。

(写真および文：武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会事務局 江田 直也)